



# 一期一会



## これまでの知識や方法のままでよいのかな？

10月31日の全校集会では、後期生徒会執行部の皆さんの認証式、校長講話、クラブ表彰、前期執行部の皆さんからの話、後期の生徒会執行部や各委員会からの取り組みの報告がありました。

校長講話では「これまでの知識や方法のままでよいのかな」という話をしました。

これまでの知識や方法の  
ままでよいのかな？

= 自立に向かう第一歩 =

2023.10.31  
全校集会

「刷り込み」



まず、右上の画を見てください。めっちゃかわいいですね。鳥には、初めて見た動くものを親だと思い込んで、その後ずっと付いて歩くという習性があります。これを「刷り込み」と言います。この小さな子を、親だと信じ切っつけて行っていますね。

では、人間にはそんなことはないのでしょうか。実は人間にも似たようなことがあります。

人間にも「刷り込み」はあるか？



心理学では「初頭効果」と言って、最初に学んだことをずっと覚えておきやすい、と言うのがあります。私はずっとあるクラブの顧問をしていました。小学校からそのスポーツをやってきた子もいるのですが、時々『えっ、今までそんな風に教わってきたの？』と驚くこともありました。小学生の筋肉の力ではそのやり方が正しいという事もあるのだと思います。

人間にも「刷り込み」はあるか？

## 初頭効果

でも、その子は最初に習った方法だけが正しいと信じ切っつけていて、中学生になってからもなかなか変えることはできなかったのです。

人間にも「刷り込み」はあるか？



さて、十五中の皆さんは、親や先生の言うことをよく聞く、素直な人が多いように思います。

でもちょっと考えてみてください。大人って本当にいつも正しいのでしょうか？世界を見渡してみると、大きな戦争が起こっています。数々の戦いの時代を過ぎ、第一次、第二次と世界大戦を経験して、戦争は悲惨だ、もう沢山だ、平和な世界を作ると誓って、100年も経たないうちにまた戦争が次々と起こっているのです。

地球温暖化にしても、人間の活動が原因で南極の氷が溶け始めている、このままでは沈む島国もある、ニューヨークなどの都市もかなりの部分が海水で浸されてしまう、その事が分かっているにもかかわらず止める事がなかなかできていないのです。

そう考えると大人って本当にいつも正しいのだろうか。



素直さはもちろん良い点ですが、何も考えず大人の後ろをトコトコついて行っていると、とんでもないところに連れて行かれてしまうかもしれない、とは思いませんか。



今までの考え方ややり方ではなく、子どもの方が新しい解決策を考えられるのではないか。

君たちは今の大人とは違ってZ世代と呼ばれ、生まれた時からインターネットがありAIを使いこなす時代です。

これまでと違う考え方、これまでと違う方法で解決策を作っていく、そういう素地、可能性を持っています。

それなのに、大人の言うことを聞いてばかりで良いのかどうか、という事を考えて欲しいのです。

もう少し身近な話をしましょう。

3, 4歳の頃、君たちはシャツのボタンを保護者の方に留めてもらっていたでしょう。もし自分でできるのに今もずっと同じようにされているとしたら、それは中学生として正しい行動とは言えないでしょう。



もし君たちの事を大切に思うあまりに保護者の方がボタンを留めてくれようとしたら、君たちはこう言う必要があります。

『それは自分でできるよ』

それを言わないと、君たちはそれができる力をつける機会がないまま大人になってしまいます。

シャツのボタンは極端な例え話ですが、中学生になった皆さんなら自分の力で出来るはずのことを、大人任せになっている事はないですか。

例えば、懇談で自分の事を話しているのに、自分は喋らずに保護者の方ばかり話している、と言う事はないですか？



問題の解決をまず自分で考えチャレンジする事なく、誰かに丸投げしている事はないですか？

(裏面に続きます)

『自分の懇談だから、自分の考えをまず話すね』

『解決できるどうかわからないけど、まずは自分の力でやってみるよ』

それを言わないと、君たちはそれができる力をつける機会がないまま大人になってしまいます。そしてその姿勢は、大人になってからも君たちの人生に影響します。

自立、と言うのは自分で考えることができる、と言う事です。別に正解を考えつかなくてもいいのです。

誰かの言う通り、先生が言うから、親が言うから何も考えずにその通りに行動する、それでは自立しているとは言えないでしょう。

自立とは？

- 自立＝自分で考えることができる
- 自立＝すべて自分でやる、ではない
- 自立＝誰かの助けを求めることができることも自立のひとつ

また、自立とはすべてを自分でやる力があると言うことではなく、自分だけではできないから、あの人の助けがこの部分では必要だ、自分でそう判断して動ける事、それも自立のひとつです。

君たちの中には、まだ中学生だから何もできなくて当然だと思っている人もいます。知れません。

意識の差が力の差に

まだ中学生だから…

もう中学生だから…

しかし、もう中学生だから自分でもできる事がある、だからやってみるんだ、と思って動く人とはどんどん差がついてしまうのは当然のことです。

今はいろんな事を学んで、自分の興味や考え方の幅を広げる時であり、失敗が許される時でもあります。

大人の多くは考え方が固まっていて、どうしてもこれまでの方法に君たちを導こうとしてしまいます。経験からそれが君たちにとっても一番良いと信じているからです。

でも、本当にそうだろうか。

変化が速く先が予想できない時代なので、その考えや方法はこれからは通用しないかも知れないのです。

自分が自分らしく、これからの時代をたくましく生きるために、中学生のうちに自分の頭で考え行動する習慣を身に付けて欲しい、と思っています。

自分の頭で考え行動する習慣を



画像出典 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231029/k10014241461000.html>  
<https://www.businessinsider.jp/post-254527>  
<https://sustainablejapan.jp/2016/11/21/north-pole-south-pole/24320>  
<https://courrier.jp/news/archives/178256/>  
[https://www.unic.or.jp/activities/celebrities/peace\\_messengers/malala/](https://www.unic.or.jp/activities/celebrities/peace_messengers/malala/)  
<https://www.crank-in.net/news/51105/>  
<https://www.nikkansports.com/soccer/news/1709016.html>  
<https://benesse.jp/kosodate/201802/20180201-2.html>  
[https://www.irasutoya.com/2014/07/blog-post\\_8197.html](https://www.irasutoya.com/2014/07/blog-post_8197.html)

## 学校運営協議会のお知らせ

第十五中学校は一昨年度から豊中市初のコミュニティスクールとして、地域の方々と共に教育活動や地域との協働について協議しています。年3回の協議会を開催しており、今年度第2回協議会は11月15日に行います。

第2回目の協議会では、今年度の学校教育活動について、全国学力学習状況調査について、今後の学校運営協議会の取り組みについての意見交流をいたします。

傍聴をご希望の方がありましたら、下記によりお申込みください。

### 記

### 第2回学校運営協議会 傍聴のご案内

1 日 時 令和5年(2023年) 11月15日(水) 18:30~

2 場 所 豊中市立第十五中学校 多目的室

3 申し込み方法

① 申し込みフォームに必要事項を入力し送信する。

<https://forms.office.com/r/ABsSUeaaHE>

または

② 電話で申し込む(教頭までお電話ください)。



※申し込みの際にいただく個人情報は、今回の学校運営協議会のためだけに使用し、第三者に提供することはありません。

4 申し込み期日 11月13日(月)

5 傍聴は10名までとし、申し込みが定数を超えましたら抽選にて決定いたします。  
(お申し込み後、連絡のない場合はそのままお越しください)

問合わせ先 教頭 安田

Tel 06-6848-6761